

**45年間にわたって高校生をサポート！  
34万人会員を有する「進研ゼミ高校講座」が、2011年4月より生まれ変わります  
～パソコン・iPod touch/iPhoneを活用し、学習の見える化や効率化を実現～**

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、以下ベネッセ）の通信講座「進研ゼミ高校講座」は、2011年4月より、従来の紙テキストに加え、パソコンやモバイル（iPod touch、iPhone）を活用した新講座に生まれ変わります。

新講座では、紙のテキストに加えパソコンやモバイルを活用することで、以下が可能になります。

- ① 学習記録の「見える化」。全国の進研ゼミ会員と比較した自分の学習量や、入試までに必要な学力への到達度がわかる。
- ② 学習の「効率化」。忙しい生活を送る高校生が、隙間時間でも学習できる。

高校生を取り巻く生活スタイルやデジタル環境が日々変化する中、ベネッセでは高校生に適した次世代の家庭学習の在り方について研究を行ってきました。その結果、本講座が誕生しました。新講座では、学習記録を「見える化」することで、高校生が目標に向かって、モチベーションをもって学習ができるよう設計しています。「見える化」によって自分に必要な学習内容や学習量がわかり、さらに隙間時間まで活用することで、効率的に学習の効果があげられることを目的としています。実際、事前のモニター調査では、90%以上が「隙間時間を活用できた」と回答しました\*。

新講座は、初年度(2011年度)は高校1年生向けに講座を展開し、その後、順次対象学年を拡大します。

### <新「進研ゼミ高校講座」の特長>

ベネッセでは上記の点を踏まえ、現代の高校生になじみ深いデジタルデバイスを取り入れることで、高校生が将来に向けて、モチベーションを持って達成感を感じながら学習ができるように、そして効率的かつ効果的な学習ができるように、新しい講座を設計しました。

パソコンやモバイル（iPod touch、iPhone）を活用することで以下が可能となります。

#### 【おもな特長】

##### ① 学習履歴や到達度を「見える化」

- 他の会員の正解状況と比較し、全国レベルでの本人の位置を見ることができる。
- 大学入試の頻出分野の中で、自分が正解できている分野や、未正解で今後取り組むべき分野がどこかわかる。
- 志望大レベルの学力醸成に向けて、「今解くことができたいレベルの演習問題」をコースごとに出題。

※上の3つは、紙の教材の活用状況・解答状況を登録していくことで提供されます。

##### ② 学習の「効率化」

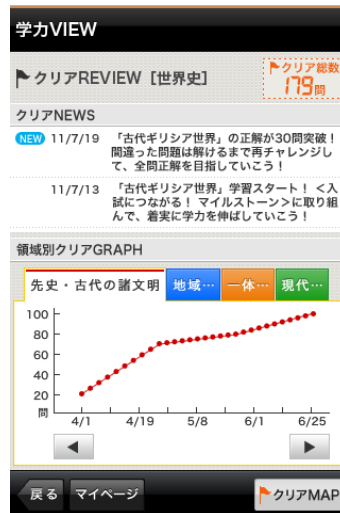
- 赤シート機能が付いたデジタル暗記カード、およびその内容を一問一答のドリルにしたチェック機能がある。
- 間違った問題だけが記録され、ボタン一つで必要な復習ができる。

<参考資料>

- わからない問題を24時間いつでも質問でき、48時間以内に回答が届く。
- 毎年10万人以上の現役合格者がいる進研ゼミの卒業生である大学生が「先輩チューター」として高校生の悩みを受け止めてくれる。24時間相談を受け付け。



■「ライバル VIEW」: 同学年・同科目の受講会員ライバルと正解数を競ったり、総正解数を基にした「ライバルの中での自分の成績順位」を把握することができます。



■「学力 VIEW」:<クリア REVIEW>: 高2までの入試基礎固め学習で「学ぶべき領域」がどの程度学習できているのか、学習履歴がグラフなどで簡単に見える化。



■「学力 VIEW」:<クリア MAP>: 入試出題範囲の領域別分布が図で「見える化」するので、正解した問題がどの領域に当てはまるのか、瞬時に把握できる。

<新「進研ゼミ高校講座」誕生の背景>

勉強の楽しさや学習目的の明確化が、学習へのモチベーションにつながる点に注目

高校生約6,000人に「勉強への取り組み」について聞いたところ、「上手な勉強の仕方がわからない」と回答したのは約8割に上り、また、「勉強しようという気持ちがわからない」(63.2%)と「どうしてこんなことを勉強しなければいけないのかと思う」(54.1%)でも、回答比率は半数を超えており、今取り組んでいる勉強の目的ややり方に対する疑問を持ったり、勉強することにモチベーションを持っていない高校生の状況が明らかになりました。

さらに高校生の学習行動に注目すると、「問題を解いた後は答え合わせをする」のが78.6%で、ほとんどの高校生が行っているものの、「テストで間違えた問題をやり直す」のは37.6%と半数にも満たなかったことから、多くの高校生は答え合わせをするものの、解けなかった問題を復習していない実態も明らかになりました。

一方、「勉強する理由」については、「高校生のうちは勉強しないといけないと思うから」(77.0%)、「自分がつきたい仕事につくのに必要だから」(76.1%)、「いい大学に入りたから」(69.5%)が上位を占めており、高校生は実用志向が強く、自分の将来の進学や職業と結びつけて勉強する傾向がみえました。さらに、「問題が解けるとうれしいから」では約7割が肯定していることから、高校生は実用志向が強いだけでなく、勉強そのものの楽しさがわかって勉強に取り組む生徒も多いことがわかりました。

(2009年ベネッセ教育研究開発センター「第2回子ども生活実態基本調査」※別紙参照)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 西沢、坂本、濱野、十河  
電話：042-356-0657 FAX：042-356-0722

■「進研ゼミ高校講座」概要■

正式名称:	進研ゼミ高校講座 ※「進研ゼミ高校講座」会員数 34 万人(2010 年 4 月現在)
内容	紙のテキスト学習に加え、学習到達度の「見える化」やモバイルによる隙間時間学習が可能になった新しい通信講座 ※iPod touch、iPhone では、「iTunes」からダウンロードできる会員向けの無料アプリケーションを使用して学習します。パソコンの場合、「高校講座」の会員専用サイト上で学習します。
対象	2011年4月の新高校1年生(2012年より高2生、2013年より高3生向けに拡大予定。)
開講時期	2011年3月
受講費 ※税込み	1教科から教科を選択して受講可能。 5教科受講の場合、 ・12か月分一括払い:119,520円(月あたり9,960円) ・6か月分一括払い:64,620円(月あたり10,770円) ・毎月払い:月々11,480円 ※支払い方法は上記の3つから選択。
販売形態	直販(インターネット、電話、FAX、ハガキ)
詳細	<a href="http://www.zemi.ne.jp/pre/">http://www.zemi.ne.jp/pre/</a>

※学習に必要な環境【最低動作環境】

- 「進研ゼミ高校講座」では、下記を標準のパソコン環境としております(2010年10月現在)。動作環境は変更になることがあります。
  - インターネット(ブロードバンド推奨)に接続可能なパソコン(USB2.0以上) ■OS:日本語版Windows® XP SP3、Windows Vista®, Windows® 7 ■ブラウザ:Internet Explorer® 6 SP3以上 [無料]■Adobe® Flash® Player 9以上 [無料]■Adobe® Reader® 4以上 [無料]
  - ※Mac®やInternet Explorer®以外のブラウザの場合、デザインが崩れるなど、一部不具合がある可能性があります。 ※一部の機能は、A4サイズの普通紙印刷の可能なプリンターが必要です。
- 「進研ゼミ高校講座」の学習にiPod touch / iPhoneをご利用いただく場合、上記に加え、下記を標準の動作環境としております。
  - OS:iOS4以上 [無料]■iTunes 10以上 [無料]■Adobe® AIR® 2.5以上 [無料]
  - ※iPod touch / iPhoneのご利用に際しては、無線LAN / Wi-Fi環境(IEEE802.11b/g/n規格の無線LANルーター)があると便利です。無線LAN / Wi-Fi環境がない場合、一部の機能はパソコンでのご利用となります。
  - \*Windows、Windows Vistaは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。\*Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。\*Mac、iPhone、iPod touch、iTunesは、米国及びその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。\*iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
  - \*Adobe、Flash、Reader、Adobe AIRはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
  - ※インターネットおよび無線LANに関する費用はお客様負担になります。

※事前モニター調査について:

白鷗大学教育学部 赤堀侃司教授監修、ベネッセコーポレーション実施調査。2010年「新・進研ゼミ高校講座」モニター調査において、新講座を活用した37名のアンケート結果によると「91.9%が隙間時間を活用できた」(「ほぼ毎日」、「たまに」と回答。

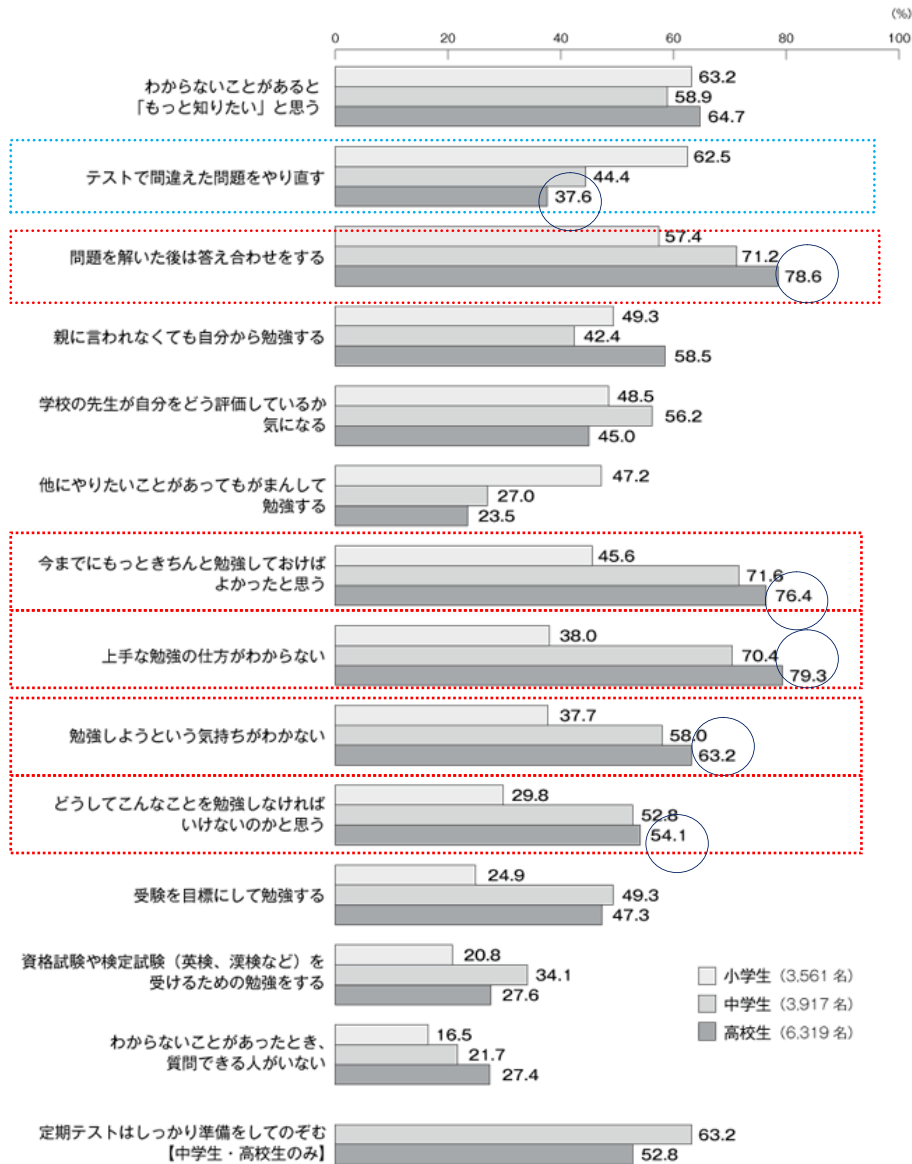
<参考資料> 高校生の学習への意識や態度について

ベネッセ教育研究開発センターが、2009年に調査した「第2回子ども生活実態基本調査」の高校生の結果をみると、「上手な勉強の仕方がわからない」(79.3%)、「今までにもっときちんと勉強しておけばよかったと思う」(76.4%)が上位3位に浮上しています(「とてもそう」+「まあそう」の回答比率)。勉強方法に悩み、今までもっと勉強すればよかったといった後悔の気持ちを持つ高校生が多いことを表しています。

また「勉強しようという気持ちがわからない」(63.2%)と「どうしてこんなことを勉強しなければいけないのかと思う」(54.1%)でも、「とてもそう」+「まあそう」の回答比率は5割を超えており、今取り組んでいる勉強に対する疑問やネガティブな気持ちを表す項目の多くが上位に入っていることがわかります。

< 参考資料 >

■ 勉強の取り組み（学校段階別） ■

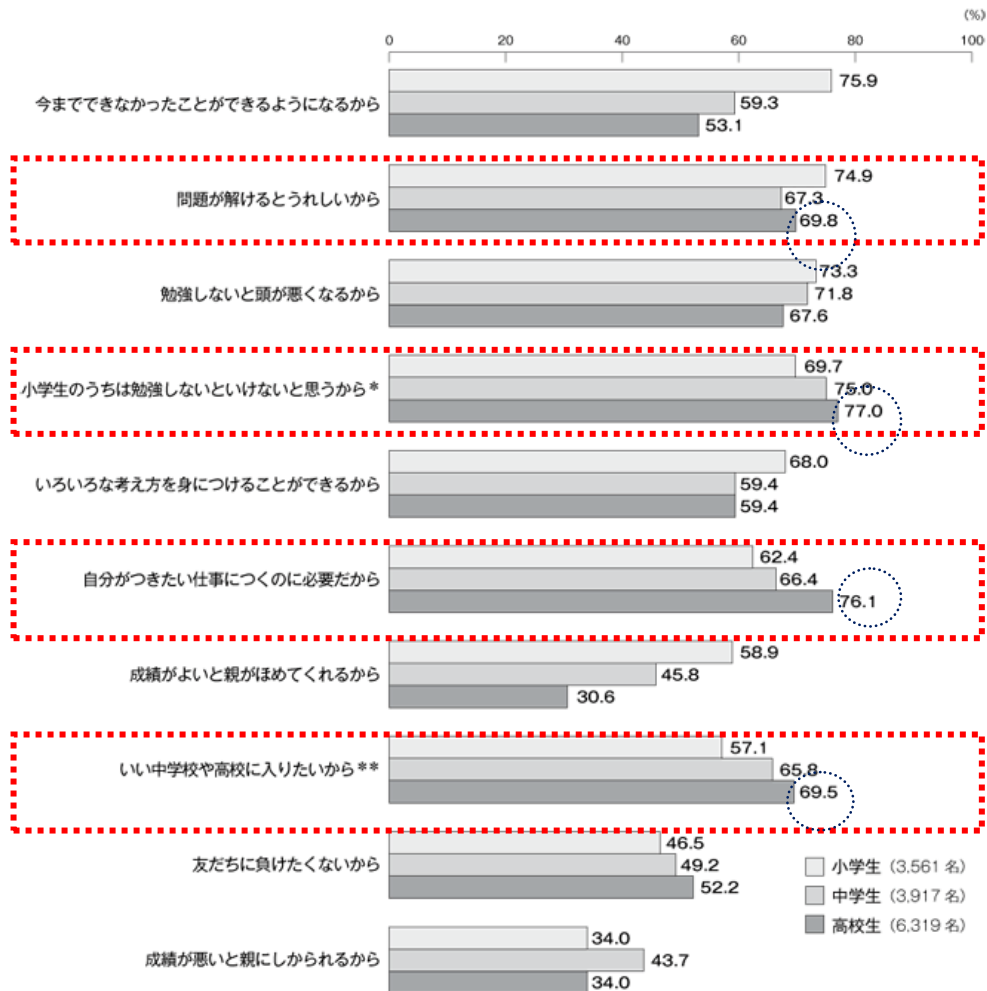


注) 「とてもそう」+「まあそう」の%。

また、以下のグラフを見ると、「高校生のうちは勉強しないといけないと思うから」（77.0%）、「自分がつきたい仕事につくのに必要だから」（76.1%）、「問題が解けるとうれしいから」（69.8%）、「いい大学に入りたから」（69.5%）が上位を占めており、高校生は実用志向が強く、自分の将来の進学や職業と結びつけて勉強していることがわかります。また、「問題が解けるとうれしいから」の回答は約7割に上り、高校生は実用志向が強いだけでなく、勉強そのものの楽しさがわかって勉強に取り組む生徒も多いといえます。

< 参考資料 >

■ 勉強する理由（学校段階別） ■



注1) \*は小学生に対する質問項目で、中学生に対しては「中学生のうちは勉強しないといけないと思うから」、高校生に対しては「高校生のうちは勉強しないといけないと思うから」となっている。

\*\*は小学生に対する質問項目で、中学生に対しては「いい高校や大学に入りたいから」、高校生に対しては「いい大学に入りたいから」となっている。

※2) 「とてもそう」+「まあそう」の%。

【調査概要】

調査テーマ	小学生・中学生・高校生の生活に関する実態や意識をとらえる
調査方法	学校通しの質問紙による自記式調査
調査時期	2009年 8月～10月
調査対象	小学4年生～高校2年生（小学生3,561名、中学生3,917名、高校生6,319名）合計13,797名

※本調査データは、次の URL をご参照ください。

[http://benesse.jp/berd/center/open/report/kodomoseikatu\\_data/2009\\_soku/index.html](http://benesse.jp/berd/center/open/report/kodomoseikatu_data/2009_soku/index.html)